

第7号

平成12年6月1日

○発行

鳥取市立川町5丁目417番地

鳥取子ども学園後援会

電話 (0857)22-4206

○振込口座

郵便振替 01490-9-9106

題字 尾崎梯之助

鳥取子ども学園 学園だより

子どもたちと共に、

「人間の尊厳を培う子育て文化」の創造を！

鳥取子ども学園 園長 藤野 興一

五月五日は「子どもの日」で、五月十一日までの一週間が「児童福祉週間」です。

今年の「子どもの日」はさんさんでした。

「また十七才！、最近の子どもは…。」と言われ、子どもの評判は悪くなる一方です。

愛知県豊川市で、高校三年生の男子が見知らぬ主婦を殺し、佐賀市に住む同じ十七才の

少年が高速バスを乗ったニュースで持ちきりでした。少し前には、名古屋市で、少年たちが五千万円もの恐喝事件を起しています。

一九九七年の神戸の連続児童殺傷。九八年に栃木県黒磯市で起きた教師殺傷。鳥取でも

境港市の刃物少年・通りがかり主婦傷害など、刃物を持った少年の残忍な事件の背景は一体何なのか。子どもに係わる私たちは真剣に掘り下げ、何が必要なのか、私たちに何ができるのかを探らねばなりません。

またどう、「少年法改正」議論が浮上し、「子どもを甘やかすな」「体罰肯定」論が勢いを増していることに、私たちは危惧の念を抱いています。

「知育偏重の高学歴指向」「管理養育・管理教育」「管理や強制」「こそ子どもたちをダメにしてきた張本人であり、養育に、特に思春期の養育に「管理や強制は要らない」と思うからです。

むしろ逆に、子どもたちに「安心」と「自信」と「自由」を保障し、子どもの権利条約で言っているの「権利行使の主体者としての

子ども」「子どもの権利」を柱に据えた「人間の尊厳を培う養育文化の創造」こそが今、問われていると思うのです。

ラフカディオ・ハーンが「日本人は世界にも類を見ない程、子どもを大切にすると」言ったように、日本にもかつては「子どもは宝」とする素晴らしい「子育て文化」が伝承文化としてありました。しかし、今や凄まじい物質文明の発達や少子化や情報化の社会的激変によって、かつての「昔の子育て」が通用しなくなり、「昔は良かった」などと嘆いてみてもどうしようもないのです。

昔は「ギャングエイジ(集団遊び)の時代」も健在だったし、テレビやタマゴツチャやテレビゲームも無かった。環境的にはもう昔には帰らない。今の日本の環境の中で「新しい今の子育て文化」を創る以外にないのです。そのキーワードは「人間の尊厳」であり「子どもの権利条約で言う子どもの権利」です。

鳥取子ども学園では、「人間の尊厳」を「弱肉強食の否定」「自分も人も大切にすること」「ヒットラーのような独裁者にならない、人間の弱さを大切にし、神様に尋ねる」こと、「大人も子どもも学びあい、育ちあう、一緒に生活を創り、歴史を創る」こと、として大切にしています。

人間の尊厳を培う子育て文化を子どもたちと共に創っていきたくないと願ってやみません。引き続きご支援ください。



一九九九年度

事業報告及び
今年度の事業計画

《法人本部》

昨年度十一月には、「子ども家庭支援センター希望館」が開設され、三月には、「子どもの虐待防止ネットワーク・鳥取」が結成され、活動を開始した。

神様のお恵みとご支援いただいた皆様
に心より感謝申し上げます。

更に、今年度、以下のとおり計画目標を立てました。引き続きご支援ください。

一、保育所「鳥取みどり園」創立五十周年記念事業の実施

保育所鳥取みどり園も、今年いよいよ、創立五十周年の節目を迎える。一九五二（二十六）年創立当時、予防的福祉としての先駆的役割を担って来た保育所も、その役割を大きく変え、少子化対策の中心的役割を果たす幅広い子育て支援事業の担い手として変身してきている。伝統に支えられ、地域に根ざした鳥取みどり園の真価が問われることとなる。

具体的には、「鳥取みどり園五十周年記念誌」の発行と、グラウンド周辺の緑化

事業及び平成十二年十一月十一日（土）午前十時から「創立五十周年記念式典」を挙げることをしたい。

二、児童養護施設、情短施設、自立援助ホーム、子ども家庭支援センター、保育所・子育て支援センターの有機的連携強化と法人の強化

複合施設として、それぞれの施設のより有機的連携を図りたい。

更に、社会福祉事業法改正の動きにも見られるとおり、社会福祉法人の強化は益々重要な課題となっている。キリスト教会事業の献身性、先駆性を発揮して法人強化に努めたい。

三、創立百周年に向けて、「第三次五か年計画（二〇〇一～二〇〇五）年計画」の策定を図る。

来年はいよいよ二十一世紀、「第二次五か年計画」の最後の年を迎える。また、二〇〇六年には創立百周年を迎える。今年から来年にかけて、「創立百周年第三次五か年計画」の策定に取りかかりたい。

1999年度各施設の月別利用状況及び2000年5月1日付入所状況

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2000年 5月1日付
養護施設	未満児	入所	19	19	29	39	49	49	410	410	410	410	410	410	39114	1509
情短施設	通所	入所	25	25	24	25	25	25	24	24	24	24	24	25	295	23
	外来相談		11	10	7	7	7	8	8	8	9	10	10	13	108	15
			実人員：245人 延べ人員：2,495（年間）													
鳥取フレンド			11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	11	122	10
保育所			157	157	159	159	162	166	164	165	165	165	165	165	1,949	158
子育て支援センター	延入数	平均	44	53	43	48	40	43	39	40	33	23	27	31	464	14

本部会計決算書

(収入)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
補助金収入	17,198,000	19,576,104	2,378,104
寄付金収入	4,626,000	6,005,086	1,379,086
雑収入	1,380,000	1,510,763	130,763
合計	24,084,000	27,971,953	3,887,953

(支出)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
事務費支出	1,113,000	1,051,756	Δ 61,244
元利償還金	5,166,000	5,165,650	Δ 350
繰入金支出	17,805,000	21,582,179	3,777,179
合計	24,084,000	27,799,585	3,715,585

歳入歳出差引き残金 ￥172,368—は次年度へ繰り越す。

(注) 事務支出には退職給与金を含む。

《児童養護施設

「鳥取こども学園」

平成十一年度頭初、四十名（未満児一名、年少児九名を含む）でスタートしましたが、六月、七月、八月にそれぞれ一名の未満児の入所があり、十月に年少児一名の入所がありました。その後は、年度末近くになった三月に中学二年生一名、中学卒業児一名の入所がありました。

入所児童の年齢別構成をみると未満児四名、年少児十名と幼児の総数が十四名、定員のほぼ三分の一を占めることとなり、昨年度以上に幼児の占める割合が高くなりました。また、入所児童の男女比は、延べ入所児童四十六名のうち、男子二十七名と約五分の三を占めることとなり、男子ホームは常に一杯の人数でした。

平成十一年度の退所は、十一月に中学生一名があつた以外は全て年度末の三月で、高卒児童一名、高校生一名、小学生一名、年少児四名が退所し、年間で八名の児童が退所しました。高卒児童は県外就職し、会社寮に入寮しました。残りの児童七名は家庭復帰となりました。

平成十二年度は、平成十一年度からの継続入所児童三十八名に新規入所児童一名を加えた三十九名（未満児一名、年少児七名、小学生十一名、中学生八名、高

校生六名、高校年齢児童二名）でスタートすることとなりました。

—————*—————

NHK歳末助け合い及び鳥取マスタース卓球クラブから、卓球台寄贈

平成十一年十二月に、第四十九回NHK歳末助け合い義援金十三万円をいただき、卓球台一台を購入しました。一月十六日にはさつそく、例年行っており、鳥取ライオンズとの卓球大会で使わせていただきました。その後、三月にも鳥取マスタース卓球クラブから卓球台二台を寄付していただき、子ども達は新しい卓球台を喜び、卓球を楽しんでいます。

ありがとうございます。

鳥取こども学園同窓会のご案内

毎年、盆の八月十四日と正月の二月二日の夕方六時半に学園の地域交流ホームで同窓会を行っています。なつかしい顔に会え、昔話に花を咲かせたり、お互いの消息を知りあったりと楽しい時を持っています。今年の一月は、十年ぶりのOBも顔をだしてくれ、みんなで喜びました。お気軽においでください。

児童養護施設 施設会計決算書

(収入)			
科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	135,212,000	135,117,423	Δ 94,577
補助金収入	4,500,000	4,640,539	140,539
寄付金収入	1,148,000	1,148,090	90
雑収入	2,989,000	3,512,906	523,906
引当金戻入	0	0	0
合計	143,849,000	144,418,958	569,958

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

(支出)			
科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
事務費支出	108,583,000	107,948,674	Δ 634,326
事業費支出	35,266,000	34,032,053	Δ1,233,947
引当金繰入	0	2,350,000	2,350,000
合計	143,849,000	144,330,727	481,727

歳入歳出差引き残金 ￥88,231-は次年度へ繰り越す。



卓球大会

- 【学園関係】
- 12月5日 餅つき大会：鳥取いなばライオンズクラブ
 - 12日 夕食招待：春夏秋冬
 - 16日 餅つき招待：N.T.T.T.E.中国鳥取支店
 - 19日 学園クリスマス祝会（写真）
 - 23日 ラーメン昼食プレゼント：丸ハラーメン屋台
 - 24日 クリスマスイブ・ホームパーティー
 - 1月2日 新年OBすきやき大会
 - 13日 学園創立記念日
 - 15日 希望館通所部門・とんど焼き
 - 16日 鳥取ライオンズクラブ学園卓球大会：鳥取ライオンズクラブ



《情短施設「希望館」》

昨年、平成十一年度当初実績により、入所(宿泊)部門の暫定定員(二十七名)は年度中に解消されたが、通所部門は年間を通じて措置が少なく、今年度も昨年度の実績から一名減の十四名の暫定定員でスタートした。しかし、五月一日現在で既に定員の十五名を満たしており、年度内の暫定解消が見込まれている。

ところで、近年クローズアップされ社会問題化している

「児童虐待」に関して、厚生省は福祉・医療・教育の専門スタッフが連携する情短施設を専門治療施設と位置づけ、全国都道府県・政令指定都市



市に対し情短施設の設定が急務であると通知している。実際、鳥取県でも学園希望館でも「被虐待」による入・通所措置件数は年々増加してきており、措置事由も「身体的虐待」「精神的虐待」「放置・怠慢」など、さまざまである。こうした傾向は都市部では特に顕著で、被虐待児の全体に占める割合が六割を超える施設もめずらしくない。

また、「学級崩壊」「小一問題」「フ

チ家出」、「援助交際」、度重なる「少年による凶悪犯罪」など、家庭の育児機能の低下が声高に叫ばれる中、希望館に事務局を置く全国情短施設協議会では、ハンドブック「心をはぐくむ」子育てQ&A」を一年をかけて執筆・編集し、このたび発行した。

このハンドブックは、一般の保護者向けに編集したもので、育児の課程でさまざまに現れてくる子どもの問題を取り上げながら、一つ二つの子どもの状態や状況に、保護者がどう対応したらいいかについてアドバイスしたものである。三月末から四月末にかけて全国へ四万部の配布を終え、各地から「読みやすく、解り

やすい」と好評を得ている。平成十二年度には更に相談機関職員を対象とした、より専門的な内容のハンドブックを、また、平成十三年度には医療従事者向けに、情短施設での総合環境療法を紹介したケースブックを発行する予定にしており、こうした社会の要請に応えていくため、希望館はますます忙しくなりそうである。

情短施設 施設会計決算書

(収入)			
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
措置費収入	142,200,000	141,933,608	△ 206,392
補助金収入	3,093,000	3,182,340	89,340
寄付金収入	771,000	771,000	0
繰入金収入	200,000	200,000	0
雑収入	2,325,000	2,475,633	150,633
引当金戻入	0	0	0
合計	148,589,000	148,622,581	33,581

(支出)			
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
事務費支出	120,949,000	120,849,002	△ 99,998
事業費支出	27,460,000	27,350,276	△ 109,724
引当金繰入	180,000	420,000	240,000
合計	148,589,000	148,619,278	30,278

歳入歳出差引き残金 ¥3,303-は次年度へ繰り越す。

(注) 雑収入には職員給食代を含む。



もちつき大会

- 2月3～8日 児童福祉展(大丸)
 - 10日 希望館通所部門・スキー遠足(氷ノ山スキー場)
 - 26～27日 高校生スキー合宿(氷ノ山スキー場)
 - 3月10日 希望館通所部門・卒業生を送る会
 - 15日 高校生会卒園生を送る会
 - 5月12日 希望館通所部門・春の遠足
 - 22日 鳥取中央ライオンズクラブ交流会
 - 28日 学園子ども祭り
- 【みどり園関係】
- 12月1日 特別養護老人ホーム「白兎あすなろ」訪問
 - 18日 クリスマス祝会
 - 27日 もちつき大会

《保育所「鳥取みどり園」》

新入児三十一名をお迎えして、平成十一年度総勢一五七名のにぎやかなスタートとなりました。その後も三歳未満児の途中入所が続き、九月には一六六名となりましたので、職員を増員（臨時、パート）して保育にあたりました。

大世帯になりましたので、安全面には十分気をつけて保育しました。おかげ様で大きな怪我や事故もなく過ごすことが出来ました。感謝。感謝です。

また、開設三年目を迎えた「わくわく子育て支援センター」も順調に事業を行っております。十一年度利用家庭数は、延三、三三八家庭で利用人数は、延七、二〇七名で、一日平均二十〜二十五組の方が支援センターを利用し、喜んで頂いております。

その他エンゼルプランの特別事業を次の通り実施しております。

- 一、低年齢児保育促進事業
- 二、障害児保育
- 三、開所時間延長促進事業（朝七時〜夕刻七時）
- 四、老人福祉施設訪問等世代間交流事業

二〇〇〇年（平成十二年）四月に創立五十周年という大きな節目を迎えます。「記念誌」「記念植樹」など記念事業の準備に取りかかっております。今年度も地域に開かれた保育園として、地域に愛され、信頼されるように、職員みんなで知恵や

力を出し合って努めていきたい。また、「つなげよう ひろげよう 友だちの輪」をスローガンに、園生活の中で「友だちと一緒にいいな」と感じられるような仲間づくりをめざしていきたい。

支援センター「たのしいな」

支援センターに通われた方が寄せて下さったメッセージをご紹介します。

支援センターに通うようになってもうすぐ一年。周りを見るといつの間にか自分の子どもより小さな子ども達が沢山遊んでいて、たまには「お兄ちゃん」と呼ばれることもあったりして、時間が経つのは早いなあと感じています。転勤で鳥取に来て生活環境が一変し、親も子どもうろたえていましたが、このセンターと出会ったおかげでこの土地に少しずつ馴染んでいけたように思います。子どもの病院の事から始まって買い物するところ遊びに行くところなど、先生やここに来られるお母さんたちからいろいろ教えてもらったり、何よりたくさんのお友達が出来たことが一番です。最初は子どもがとって通い始めましたが、ここで他のお母さん達や先生と話をすると、いつの間にか自分のストレスの解消ができる大切な場所になっていくように思います。



保育所 施設会計決算書

(収入)				(支出)			
科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額	科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
運営費収入	123,189,230	123,131,110	Δ 58,120	事務費支出	130,610,388	130,237,672	Δ 372,716
補助金収入	31,316,952	31,316,051	Δ 901	事業費支出	19,112,768	19,182,819	70,051
寄付金収入	82,578	126,049	43,471	引当金繰入	5,975,923	6,299,642	323,719
利用料収入	517,700	520,250	2,550	繰入金支出	880,000	880,000	0
雑収入	1,472,619	1,506,673	34,054	合計	156,579,079	156,600,133	21,054
合計	156,579,079	156,600,133	21,054				

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

1月19日 伝承あそび（祖父母と一緒に）

27日 参観日（座談会・給食試食会）

2月9日 交通安全教室（保護者会主催）

14日 修立小学校体験入学（年長児）

17日 シルエット観劇（市民会館）

19〜21日 作品展

20日 私立保育園保護者会ソフトドッチボール大会

25日 地域子育て支援センター「育児講座」：講師 原田 彰氏

3月3日 ひなまつり

12日 お別れ会

16日 平成十二年度入所説明会

25日 第四十九回卒園式（卒園児27名）

4月1日 進級式

3日 第五十回入園式

7日 お花見会

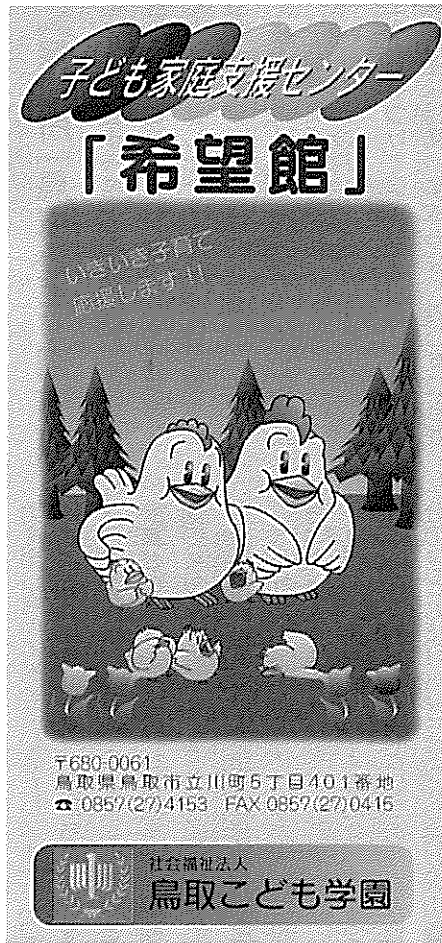
25日 春の親子遠足（おおち谷公園）
保護者会総会

《子ども家庭支援センター「希望館」》

昨年十一月、鳥取子ども学園「希望館」に併設された「子ども家庭支援センター希望館」が活動をはじめ、早や七カ月がたちました。

児童心理療育(情短)施設に付置されたのは当初、子どものための総合ケア・センターとしての鳥取子ども学園の特色と機能などを有効に活用し、さまざまなケースに対応しています。

子育て不安や不登校の問題などの外来相談には福祉・医療・教育の専門スタッフが幅広く対応し、電話による相談には二十四時間、いつでも応じるようになっています。また、子どもへの虐待など、緊急性の高い場合には一時保護を行い、すでに数件を受け入れています。



子ども家庭支援センター
「希望館」

いざいざ子育て
相談します!!

〒680-0061
鳥取県鳥取市立川町5丁目40-1番地
☎ 0857(27)4153 FAX 0857(27)0416

社会福祉法人
鳥取子ども学園

さらに、去る三月四日に発足した「子ども虐待防止ネットワーク・鳥取」―CAPTAA―の事務局として、県下の関係者や機関・団体等と連携・協力し、虐待から子どもを守ることも、加虐の悪循環から大人を救うようカウンセリングなど、必要な援助を行っています。

最近、思春期の子どもの私たちのストレス状態がますます深まり、いじめ、不登校などは減少していません。また、人のいのちにかかわる悲惨な事件があいついでいます。明らかに子どもの心は病み、精神の崩壊が進んでいます。

みなさん、ひとりで悩まないで。あなたのそばに、相談相手があります。いやしや励まし、また具体的援助ができるサポートがあります。小さなことでも、まず電話をください。(〇八五七)二七四二五二です。

《自立援助ホーム

鳥取「フレンド」》

平成十一年度は、四月当初三名の入所と一名の退所があり、十一名でスタートしました。

その後、七月に一名、八月に一名、一月に一名、三月に二名、計八名の入所があり、退所は、四月に一名、七月に一名、八月に一名、一月に一名、三月に一名、計五名でありました。



今年度の入所者八名の内訳は、当園出身者は二名で、県内養護施設出身者一名、自立支援施設出身者二名、一般家庭から三名であり、その内鳥取家裁から二名、松江家裁から二名の委託児童が含まれている。昨年度末頃から、入所の相談に感じれないものもありました。

平成十二年度は、継続入所児童十一名でスタートすることになりました。

自立援助ホーム鳥取フレンド 施設会計決算書

(収入)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
補助金収入	3,895,000	3,895,000	0
寄付金収入	115,000	15,000	Δ 10,000
利用者負担金収入	800,000	780,000	Δ 20,000
雑収入	3,977,000	4,054,905	77,905
繰越し金収入	1,400,000	1,400,000	0
前年度繰越し	172,000	172,976	976
合計	10,359,000	10,317,881	Δ 41,119

(支出)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
事務費支出	5,726,000	5,682,123	Δ 43,877
事業費支出	3,283,000	3,236,840	Δ 46,160
引当金繰入	1,350,000	1,300,000	Δ 50,000
合計	10,359,000	10,218,963	Δ 140,037

歳入歳出差引き残金 ¥98,918―は次年度へ繰り越す。

(注) 雑収入には家裁、保護観察所からの保護委託費を含む。

物品寄付者(1999.12.1~2000.5.31)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
赤 山 善 男	竹 内 幸 子	鳥取中央ライオンズクラブ	牧 田 倫 子
秋 崎 る り 子	竹 内 昌 明	中 口 文 久	松 田 章 義
有 利 和 晃	(株)竹中工務店鳥取営業所	中 嶋 知 頭 子	丸 八 ラ ー メ ン
乾 博 登	谷 口 め ぐ み	長 戸 紀 子	丸 善 株 式 会 社
猪 口 吉 野	大 樹 寺	西 尾 琉 璃 子	ムーンバット株式会社
岡 村 喜 一 郎	大協ダイヤモンド会	日 香 寺	森 川 隆 宏
影 井 幸 恵	中国UCCベンディング(株)鳥取支店	日 本 鏡 餅 組 合	森 下 久 美 子
加 藤 健 二 郎	中国電力労働組合鳥取支店女性委員会	橋 詰 隼 人	山 崎 綾 子
河 合 雅 子	常 田 明 美	春 歌 秋 灯	中 山 靴 店 (株)
(有)キャリアステーション鳥取	電 通	広 岡	山 本 き く こ
黒 川 和 子	鳥取いなばライオンズクラブ	フーズサプライインターナショナル	山 本 正 明
幸 本 文 男	鳥取マスターズ卓球クラブ	福 永 裕 子	由 井 哲 夫
国際ソロプチミスト鳥取	鳥取県中小企業団体中央会	藤 縄 健 次	無 氏 名
山 陰 中 央 新 報 社	鳥 取 県 農 団 労	株式会社ベネッセコーポレーション	

鳥取子ども学園後援会 平成11年度収支決算書

(収入) 自H11.4.1 至H12.3.31

(単位:円)

科 目	金 額			摘 要
	当 年 度	前 年 度	増 減 (Δ)	
後 援 会 費	2,851,376	4,873,955	Δ 2,022,579	275件
雑 収 入	1,899	4,078	Δ 2,179	預金利息
前 期 繰 越 金	3,575,915	5,837,352	Δ 2,261,437	10年度繰越
合 計	6,429,190	10,715,385	Δ 4,286,195	

(支出)

(単位:円)

本部会計へ寄付	2,800,000	5,097,000	Δ 2,297,000	自立援助ホーム、地域交流ホーム運営費助成、設備資金長期借入金返済助成
役 務 費	10,240	17,660	Δ 7,420	
施設会計へ寄付	50,000	2,024,810	Δ 1,974,810	ギフト券(フレンド)
雑 費	0	0		
合 計	2,860,240	7,139,470	Δ 4,279,230	

歳入歳出差引残金 ¥3,568,950-は次年度へ繰越す。

「鳥取子ども学園後援会」加入と会費納入のお願い

鳥取子ども学園の事業は、言うまでもなく「民間社会事業」です。「制度」は何もないところから出発した創立当初の困難を想い、民間社会事業の先駆性・献身性を受け継ぎたいと思います。公的な制度と資金だけでは到底足りません。

「鳥取子ども学園後援会」加入と会費納入をお願いします。

1. 「鳥取子ども学園後援会」へご入会下さい。
2. 地域、職域でできるだけ友人・知人に呼びかけて下さい。
3. 個人でも団体でも、会社や法人でも加入出来ます。
4. 年会費は、個人1口3,000円、団体・法人1口10,000円で、1口以上何口でも結構です。

会費・寄付金は下記へ

鳥取子ども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取子ども学園内

☎(0857)22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取子ども学園 理事長 尾崎良一

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取東支店 普通 2124157
鳥取銀行本店 普通 7645611